

## 練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第7回） 要点記録

開催日時	平成 21 年 12 月 16 日(水) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 50 分	
会場	大泉学園桜中学校 2 階 会議室	
出席者	委員	本木薫、中島広美、諏崎啓美、伊藤照代、甲斐智重、和田尚武、中田清、相馬功紀、坂口節子、小川善昭、時政千恵子、坂田美由紀、木下川肇、高島邦夫、重田三夫、元木靖則、河口浩（敬称略）
	事務局	新しい学校づくり担当課、教育指導課
	その他	教育出版
傍聴者	7 名	
案件	1 アンケート調査結果の報告 2 統一校名・統一校章・統一校歌について 3 小中一貫教育資料作成委員会の経過報告 4 小中連携教育について 5 大泉学園桜小学校・大泉学園桜中学校の周年行事等の取扱い 6 その他	

### 1 アンケート調査結果の報告

#### 委員長

これより第7回小中一貫教育校推進委員会を開催する。事務局より委員の出欠状況の報告と資料の確認をお願いしたい。

#### 事務局

本日は 18 名中 17 名の出席で、1 名欠席の連絡をいただいている。事前に資料は郵送しているが、追加の資料として資料 1-2 と第 6 回推進委員会の要点記録案を本日お配りしている。要点記録案については修正箇所等あれば事務局までご連絡いただき、その後ホームページにアップさせていただく。

#### 委員長

それでは案件に沿って進めていくが、その前に大泉学園桜小学校、中学校長から報告があるとのことをお願いしたい。

#### 委員

標準服検討委員会を立ち上げたので、一言ご報告申し上げます。第 1 回標準服検討委員会をこの会議の時間前に開催した。今年度中に方向性を出したいということで要綱等も定めさせていただいた。今日も熱心に議論していただいたが様々な考えがあり、それらを知ることで新たな考えも生まれてくるという可能性を強く感じた。今後はアンケート等を実施しながら妥当性の高い方向性を出していきたいと考えている。

#### 委員長

小学校長から何かあるか。

#### 委員

標準服検討委員会のメンバーについては桜小の副校長が委員長、桜中の副校長が副委員長で小中の教員が1名ずつ。保護者会の会長が桜小中各1名と会長以外の保護者が各3名で検討を始めていることをお知らせする。

#### 委員長

それではアンケート調査結果の報告を事務局からお願いしたい。

#### 事務局

結果については前回一通り説明したが、学校別などより詳しく知りたいとの意見があったので、このような形でまとめさせていただいた。

##### 【概略】

##### 《教育方針・運営方針の評価》

- ア．保護者     ~ 学校別、学年別に見てもおおむね支持の度合いは高いが、標準服の導入に関しては他の項目より支持の度合いがやや低い。
- イ．教職員     ~ 学校別に見ても教育方針に関する項目は支持が高いが、標準服については全体として支持しない方向。ただし、中学校では支持の方向となっている。
- ウ．地域住民   ~ 他に比べ支持の度合いは非常に高い。学区別に見たときは特に桜小 桜中の学区の人の支持が高く、一貫校の認知度別で見ると知っている人の支持が高くなっている。標準服については支持の度合いが若干低く、特に緑小 桜中の学区の人は支持しない方向。認知度別に見ると知っているの方が知らないよりも支持が高い。
- エ．小学生     ~ おおむね支持の度合いは高いが、授業に保護者や地域の人に参加することに関しては支持が低い。教科担任制については支持の度合いが非常に高い。中学校進学時の楽しみ度別に見ると全項目を通して、楽しみにしている児童の支持が高い。小中学生が一緒に部活やいろいろな活動することについては桜小の方が緑小より支持の度合いがかなり高い。標準服については支持しない方向で、統一校歌も支持の度合いは低い。校歌について、桜小ではあまり支持されていない。
- オ．中学生     ~ 教育方針に関わる項目はおおむね高い支持が出ているが、小学生の部活動への参加については否定的で特に3年生の支持度合いが低い。中学校進学時の楽しみ度別にみると小学生とは違い、楽しみだった生徒の支持が高いとは一概に言えない。標準服、統一校歌については支持が低く、統一校名、統一校章は若干高め。どの項目も3年生の支持が低めに出ている。中学生だけにある「友達との人間関係がうまくいくようにします。」という項目は非常に支持が高い。

#### 《教育活動についての評価》

～保護者・地域住民からは高い支持が出ており、教職員についてもおおむね支持の度合いは高い。項目としては部活動を一緒に行うことの評価だけが他よりも支持度合いが低くなっている。特に桜小の教職員からは支持しない方向が出ている一方、地域住民で桜小 桜中の学区の人からは高い支持がある。認知度別での顕著な傾向はみられていない。

#### 《学校と地域とのかかわりについての評価》

～保護者、教職員、地域住民とも高い支持を得ている。保護者では学校別、学年別で大きな差異はない。教職員では生涯スポーツについては他の項目より若干低めである。地域住民では桜小 桜中の学区の人、認知度で「知っている」と答えた人たちの支持が顕著に高いという傾向が見られる。

#### 《中学校に進学して良かったこと、困ったこと（中学生のみ）》

～特に多かったのは「勉強が難しくなった」という感想。友人関係については困ったという意見はほとんどなく、「友達が増えた」など良かったことの方が多い。他には部活動や行事が楽しいといった意見も多い。その他には自分自身の責任や成長を振り返るような意見なども見られた。

#### 《小中一貫教育校への期待・意見・要望》（具体的意見）

資料読み上げ 省略

#### 委員長

アンケート調査結果の報告についてご質問、ご意見があればお願いしたい。

#### 委員

小学生、中学生のストレートな生の意見が聞け、ぜひこういったことを念頭に小中一貫教育校づくりを進めていただきたい。ただ、周囲からの期待がある一方、小中一貫教育校の特色的なものがまだよく見えてきていない。他の学校とは違う特色を出すのであれば、土曜日の在り方をもう一度考え直してみることを提案したい。新しい小中一貫教育校は土曜日授業があり、教育時間を確保して子供たちを指導していくということも考えていただければどうか。

#### 委員

この推進委員会や小中一貫教育校に関して、出ている情報が少なく良さが見えてこない。外部に対してもう少しアピールする方法を考えたほうがいいのではないか。

#### 委員長

今回の大変貴重なアンケート調査結果を今後の協議にも活用していただきたい。

## 2 統一校名・統一校章・統一校歌について

### 委員長

次に統一校名、統一校章、統一校歌について事務局から説明をお願いしたい。

### 事務局

議論を整理する意味で他校の状況を資料2で案内したいと思う。

学校は、学校教育法に基づいた存在で、そのまま存続する校名も条例で明記しており、変わることはない。統一校名というのは愛称として一つの名前をつけてはどうかという意味だ。品川区で2校、足立区、三鷹市、呉市ではいずれも通称名として「～学園」という名前をつけている。

校章、校歌は条例事項ではないため、定めていない学校もある。小中一貫教育校ではどうかという、既にそれぞれ校歌や校章はあるが一つの学校としてやっていくに当たり、統一のマークや歌を作っていくことを検討してはどうかということだ。学校運営上の問題なので皆さんの意見を聞きながら最終的に校長が判断することになるが、この機会にぜひ議論していただきたい。具体的な議論については来年度お願いしたいと考える。他区の例については資料をご覧ください。

## 3 小中一貫教育資料作成委員会の経過報告

### 委員長

次に小中一貫教育資料作成委員会の経過報告を事務局よりお願いしたい。

### 事務局

2回目の報告としてA3版の資料1枚をお配りした。2月完成を目途にしている中間報告書に向け考え方をまとめたもので最終案ではない。具体例を示すことを最終目標にしているが、中間報告ということで理念が中心になることと、細かく説明できる資料になるようまとめている途中なので、今のところ簡略化した書き方になっていることをお断りしておきたい。

#### 【概略】

ア.「表現力の育成」部会

〔検討の視点〕 「伝える力＝表現力」ととらえ、国語科での語彙指導と教科指導を基に9年間でどのような力を身につけるか検討。

〔重視する指導項目〕 「調べる力」「組み立てる力」「表現に関する技能」「態度・相手意識」  
\*それぞれの力の9年間でのゴールを考えながら、子供たちの思い、情報、考えを自分で表現する力を高めていく。

～中間報告書の作成については各期でどこまでできるようにするというを考えているが、第 期<sup>1</sup>の活動をどうやって膨らませるかに検討の余地がある。

#### イ.「心の教育の推進」部会

〔検討の視点〕 「心の教育の進め方」「豊かな心の内容」を定義し、地域資料と地域の人材活用を図る。

〔重視する指導項目〕 「規範意識」「生命尊重」「自尊感情」「思いやりの心」「社会連帯の自覚」

\*「思いやりの心」では各期とも体験活動を通して子供たちの心を耕すことを目玉としている。5, 6年から中学1年の接続を大事にすることを確認してはいるが資料には表れていない。

#### ウ.「体力の向上」部会

〔検討の視点〕 学習指導要領に定義されているものをベースに練馬区の子供たちに身につけさせたい体力、課題を検討。

〔重視する指導項目〕 「運動に必要な動きや技能」「運動の楽しさを味わい、意欲的に運動に親しむ態度」「健康を保持増進させるための知識や理解」

~クラブ活動、部活動は目的が違うが、期、期でどのように接続を滑らかにしていくかを提案していく。また安全面を特に重視し、新学習指導要領で必修となった武道での受け身の動きなどを小学1年生から取り入れた「体づくり運動」の開発をすることで、事故防止に役立てることを考える。

#### エ.「キャリア教育の推進」部会

〔検討の視点〕 体験活動を積極的に取り入れ、子供が具体的な成長モデルを想像できる指導を行うとともに、自己有用感を十分に意識できるような指導を行う。

〔重視する指導項目〕 「自己肯定感・自立心」「望ましい勤労観・職業感」

\*文部科学省のキャリア教育の四つの柱を参考に、練馬区としての柱を二つ設定し、中間報告では活動例、実践例を具体的に提案する。

#### 委員長

小中一貫教育資料作成委員会の経過報告についてご質問、ご意見があればお願いしたい。

#### 委員

「表現力の育成」部会の系統は分かりやすいが、国語科以外の教科においても学習指導要領に基づいた言語活動を重視した教育活動がより具体的に示されると、小中一貫教育校としての教育課程を編成する時に非常に活用しやすくなると思う。また、大泉学園桜小中の教員には考えてもらっているのだが、わが国の古典を重視し、伝統文化を軸とした言語活動を重視して学校の特色を出していきたい。今後の策定に御配慮賜りたい。

「心の教育の推進」部会については練馬区独特の子供の実態をもう少し検証していただきたい。私が特にこだわるのは命の教育だが、その人だけにある命の役割を受け止められるような指導をするとともに、家庭の教育力についても明らかにすることが大事かと思う。

「体力の向上」部会だが、寒いこの時期に、桜小の児童が校庭を走り長距離の練習をしている。これは基礎体力だけでなく精神面も鍛えていくことができ、すでに実践として行われている。

ることも視野に入れた体力向上の案が欲しいと思う。

それから「キャリア教育の推進」部会の重視する指導項目について納得はしているが、自分の能力を生かせる仕事に就けるとは限らない。粘り強い実践力がキャリアの基礎になると誰もが思うので、そういった第三の柱があってもいいのではと感じる。

**委員長**

他にご意見、ご質問はあるか。

**委員**

小中一貫の特色として、小P連の会長会で4部会の話をしていただきたいと思うが、各部会として看板になるものを一つ選んでいただき、これを主にやっていきたいという形で伝えられればと思う。各部会ともすばらしい概要だとは思うが、あまりにも内容が多すぎ、実際に実行するのは難しいと感じるので、ちょっとまとめていただきたい。

**委員**

例えば健康教育、具体的には性教育などはこの中のどこに入るのか。小学生と中学生が一緒になる 期の特徴としてどこでどのように取り上げられるのかと思った。

**事務局**

性教育については学習指導要領に位置付けられ、学校ごとの全体計画の中で発達段階に応じて適切に指導がなされている。おそらく「体力の向上」部会で取り上げないのかとの指摘と思うが、練馬の子が他府県の子に比べ体力が劣るといふ弱点を克服するために設けた部会だ。意見については部会に伝え、関連してそういう内容が入るかどうかが検討してもらおう。

**委員**

先ほどのアンケートの意見でもあったが、子供たちにとっていじめというのは大きな心の問題になると思うので、「心の教育の推進」部会の中でいじめがなくなることを検討していただきたい。

**事務局**

いじめというのは重大な人権侵害であり私も同意見なので、今の貴重なご意見は部会に伝えたいと思う。「生命尊重」「規範意識」にも関わるかと思うが、情報モラルといった現代的な問題も含んでおり、どういう部分で入れていけるか、反映する形で伝えさせていただく。

**委員**

食育も先ほど申し上げた性教育同様、命を守るための基本的なことなので、健康に対する取り組みなどとともに入れていただき、小中一貫校の特徴としていただきたい。

**事務局**

食育についても練馬区では、栄養教諭が部活動をする子は普通の子よりも多くのタンパク質

が必要なことなどを話した後で、スポーツ選手に向けた料理を親子で作って食べ、その後部活動をするといった実践も行っている。「体力の向上」部会で取り入れられないか伝えたいと思う。

#### 事務局

関連して、「体力の向上」部会には関係校の食育の全体計画を示し、検討中であることをお知らせしておく。

#### 4 小中連携教育について

#### 委員長

次に小中連携教育について大泉学園桜小・中学校、大泉学園緑小学校及び事務局から説明をお願いしたい。

#### 委員

「小中一貫校に向けての部活動の取り組み」ということで、6年生を対象として中学校の部活動に参加し、体力増強や人間関係の育成を図ることを目的に計画を実施している。実施期間を4期に分けて1期目は11月24日から始めており、少数ではあったが意欲をもって参加し、よい経験をしていただけたかと思う。小中一貫教育校は滑らかな接続が特色なのでこのような取り組みが重要ではあるが、皆さんに評価いただきたいのは双方の教員が一つの事業を立ち上げていこうと努力をし、その過程で新たな課題を見つけ共有することで、教師自身も共に学び合っていくということが、実はもう一つの大きな成果ではないかということだ。

#### 委員

緑小でも桜中の学区域の児童にこのような活動があると案内したところ、3名から参加希望があった。歩いて15分前後かかるという地理的なハンデはあるが、希望する児童には参加してもらい、体験による参加者の声として周囲に伝えていってもらおうと考えている。

#### 委員長

それでは部活動以外の件で、桜小学校長からお願いしたい。

#### 委員

先月、中学生の作品を展示し参観に来てもらうという展示会を実施した。保護者や地域の皆様から大変よかったという感想をいただき、子供たちにとっても中学生になるとすごいものが作れたり、こんなに上手に絵が書けるようになれるといった励みになる大変いい教育活動だった。合同の書き初め展も計画していたが、日程調整等がうまくいかず、どこかの部屋に中学生の作品を展示させてもらう形になると思うが、次年度は合同でできるよう計画を立てていきたいと思う。

一つ新しいことにチャレンジすると子供たちの反応がとてもよく、一貫校に向けていいことがたくさんあるなと感じた。

**委員長**

続いて事務局から説明をお願いしたい。

**事務局**

平成 17 年度から 20 年度まで、本区の小中連携教育でどのような取組があったのかを資料 5 で用意させていただいた。具体的には合同クリーン運動や小学校での職場体験などだが、中学校の教員が英語やいろいろな授業で小学校に出かける出前授業は今後も推進していきたいと思う。

5 大泉学園桜小学校・大泉学園桜中学校の周年行事等の取扱い

**委員長**

次に大泉学園桜小・中学校の周年行事等の取扱いについて事務局からお願いしたい。

**事務局**

両校の記念行事の取り扱いについて整理したのでご報告する。平成 22 年度は桜小学校が平成 22 年 10 月 22 日に 30 周年行事を行う。桜中学校は開校が 1 年後なので本来なら平成 23 年度に 30 周年行事を行うところを、22 年度中の平成 23 年 3 月 11 日に 30 年記念行事として行う。

23 年度以降は小中一貫教育校が発足するので、両校とも一貫校として記念行事を行い、最初の年である 23 年度中に開校記念式典を実施する。

**委員**

関連して桜小の 30 周年、桜中の 30 年記念行事の際には、式典は行うが祝賀会はやらないということでご承知おきいただきたい。小学校では記念集会の計画を立てているところで、記念誌などは作りたいと考えている。

**委員長**

何かご質問、ご意見はあるか。

**委員**

周年行事、開校式典に伴い、お手伝いのための周年委員・開校委員といったものを保護者から立てる必要はあるか。

**委員**

あらためて相談させていただく。

6 その他

**委員長**

本日の案件は終了したが、全般にわたって言い漏らした事などあればお願いしたい。

**事務局**

以前報告した太陽光発電装置だが、12月中に桜小学校の屋上に設置される。既に玄関口にモニターはつけられており、来年1月には稼働する予定なのでぜひご覧いただきたい。

**委員**

「小中一貫教育校だより」についての要望として、だんだん具体的なものが出るようになって少しずつイメージできるようになったが、先ほどの部活動の取り組みや展覧会の話、父兄・子どもへの反応、太陽光発電での環境教育など、具体的なものをたくさん載せることで、もっとイメージできるようになるかと思うのでお願いしたい。

**委員長**

他になければ次回予定している案件について、事務局からご説明いただきたい。

**事務局**

今年度1月、2月の残り2回となり、これまでの方向性を整理して中間のまとめをしたいと思っている。次回は中間のまとめのたたき台を提示したい。

(第8回小中一貫教育校推進委員会の開催日程の確認)

1月27日(水) 午前10時～ 於 大泉学園桜中学校

**委員長**

以上で第7回小中一貫教育校推進委員会を終了する。ご協力ありがとうございました。